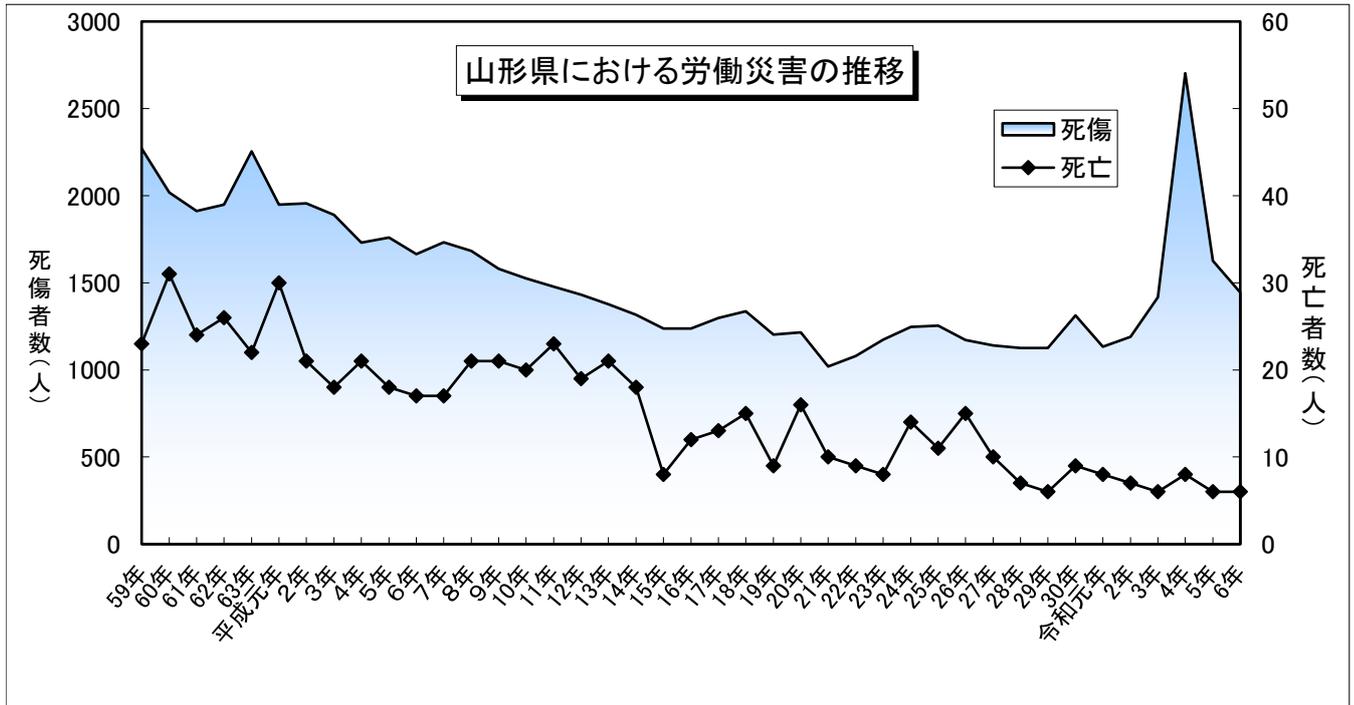


【資料1】労働災害の推移



死傷者数

年	死傷	増減率	死亡
昭和59年	2,271	6.2%	23
昭和60年	2,018	-11.1%	31
昭和61年	1,911	-5.3%	24
昭和62年	1,948	1.9%	26
昭和63年	2,255	15.8%	22
平成元年	1,949	-13.6%	30
平成2年	1,956	0.4%	21
平成3年	1,889	-3.4%	18
平成4年	1,731	-8.4%	21
平成5年	1,760	1.7%	18
平成6年	1,664	-5.5%	17
平成7年	1,732	4.1%	17
平成8年	1,683	-2.8%	21
平成9年	1,581	-6.1%	21
平成10年	1,525	-3.5%	20
平成11年	1,478	-3.1%	23
平成12年	1,432	-3.1%	19
平成13年	1,377	-3.8%	21
平成14年	1,316	-4.4%	18
平成15年	1,238	-5.9%	8
平成16年	1,237	-0.1%	12
平成17年	1,297	4.9%	13
平成18年	1,336	3.0%	15
平成19年	1,203	-10.0%	9
平成20年	1,215	1.0%	16
平成21年	1,020	-16.0%	10
平成22年	1,080	5.9%	9
平成23年	1,173	8.6%	8
平成24年	1,246	6.2%	14
平成25年	1,253	0.6%	11
平成26年	1,171	-6.5%	15
平成27年	1,140	-2.6%	10
平成28年	1,126	-1.2%	7
平成29年	1,126	0.0%	6
平成30年	1,313	16.6%	9
令和元年	1,132	-13.8%	8
令和2年	1,190	5.1%	7
令和3年	1,417	19.1%	6
令和4年	2,703	90.8%	8
令和5年	1,626	-39.8%	6
令和6年	1,444	-11.2%	6

年表

年	主な出来事
H1年	「ノー労災デー(6月20日)」を設定
H2年	水蒸気爆発(キューポラ) 2人死亡・8人重軽傷(山形市)(3月)
H9年	「年末無災害大運動」実施
H11.9	都市ガス会社爆発 12人火傷(新庄市)
H11年	建設業死亡災害多発 12人
H12年	雪崩災害3人死亡(立川町)(12月)
H14年	「冬期型労災防止強調運動」実施
H15年	死亡災害過去最少 8人(全国最少)
H15年	「安全週間、県下一斉パトロール」を開始
H15年	「冬の労災をなくそう運動」を開始
H17年	羽越線脱線事故 5人死亡・32人負傷(12月)
H21年	死傷災害過去最少 1,020人
H23年	死亡災害過去最少 8人(H15年同数) 冬期災害多発
H24年	「山形ゼロ災3か月運動」を開始
H25年	死傷災害4年連続増加
H26年	5年ぶりに死傷災害減少
H29年	死亡災害過去最少 6人
H30年	死傷災害大幅増加、12年ぶりに1,300人超
R4年	新型コロナウイルス感染症拡大

※ 死傷は休業4日以上の死傷者数(人)。死亡は死傷の内数。